

福井ふるさと学びの森あわらエリア第4回体験イベント 「秋の森散策 ～里山の秋の恵み&里地の幸を堪能しよう!～」

- 1 日時：平成28年10月1日(土) 9:00～12:00
- 2 場所：福井ふるさと学びの森あわらエリア(北潟国有林)・富津集落センター
福嶋農園
- 3 参加者：一般県民33名(うち小学生以下18名)
- 4 指導者：里山里海湖研究所 ふるさと研究員 河田 勝治さん(あわらの自然を愛する会)
同 大南 新一さん(あわらの自然を愛する会)
- 5 内容：

福井ふるさと学びの森あわらエリアの第4回体験イベントを開催しました。
ぐずついた天候が続く中、開催も危ぶまれていましたが、参加者の皆さんの熱意に秋雨前線も押されたようで、好天に恵まれた中での実施となりました。

この日はまず、国有林の中を散策しながら、里山の恵みである食べられる木の実などを探しました。たくさんのクリやシイの実をはじめ、アケビやナツハゼの実を見つけることができました。アケビは国有林の中でも1本しか生えていないということで、食べることはできませんでしたが、里山のブルーベリーといわれるナツハゼの実はちょうど完熟しており、甘酸っぱい秋の味覚を楽しむことができました。

また、河田さんからのおみやげとして、シバグリとドングリ(クヌギの実)が配られました。シバグリは調理用に、ドングリは各家庭でポットなどに植えて育ててもらい、大きくなったら山へ植樹して、里山の管理につなげましょうという話がありました。



次に、国有林近くの坂井北部丘陵地に位置する福嶋農園のサツマイモ畑へ移動し、サツマイモの収穫を行いました。春に行ったイベントで苗の植え付け体験をされた方々はもちろん、そのほかの参加者のみなさんも大きな、大きなサツマイモを袋いっぱい収穫することができました。

最後に、お楽しみの焼き芋試食タイム。坂井北部丘陵地特産の富津金時の焼き芋をみんなでいただきました。あつあつほくほくの焼き芋は、甘みがあってみなさん大満足の様子でした。



この日は、県の広報番組「ほっとふくい」の収録も行われました。放送は10月15日の予定です。